

令和4年(2022年) 7月6日(水) 13917号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL : 06-6353-7831
 FAX : 06-6353-7832
 MAIL : metal_info_osaka@nikkankanzoku.co.jp
 WEB : https://home.nikkankanzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円



銅建値は4万円引き下げの113万円

7月の月内建値平均は113万4,000円

JX金属は5日、電気銅建値を4万円引き下げの113万円にすると発表、同日より実施した。7月の月内建値平均は113万4,000円。

5日に入電した直近のLME銅相場前場売値が8,036.00ドル。5日の東京市場の米ドルTTSレートは137.14円。この値で換算した採算価格は、110万2,000円。建値と採算価格から見た諸掛りは2万8,000円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2022年

2月…1160(1) 1180(3) 1190(9) 1210(16)	平均1193.3
3月…1190(1) 1240(3) 1270(7) 1240(9) 1220(15) 1250(17) 1280(22) 1310(24) 1330(29)	平均1263.8
4月…1310(1) 1340(6) 1320(12) 1340(14) 1360(19) 1370(22) 1320(26)	平均1336.5
5月…1280(9) 1260(11) 1220(13) 1250(17) 1230(19) 1260(23) 1250(26)	平均1250.6
6月…1270(1) 1340(7) 1360(9) 1330(13) 1290(15) 1260(17) 1270(22) 1180(24)	平均1270.0
7月…1170(1) 1130(5)	平均1134.0



黄銅削粉買値は24円引き下げの831円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は5日、黄銅削粉買値を24円引き下げの831円と発表した。
 今月2回目の改定。

令和4年版「通商白書」発表

ウクライナ侵略の影響 前面に (3)

経済産業省

第2節. 米国経済の動向

米国では、巨額の財政措置により消費が喚起され、コロナ禍からの経済回復が進行している。

経済活動再開に伴って、失業率が改善しており、コロナ不況後の急激な求人増を受けて、労働条件を見直す動きから自主退職者が増加する「大交渉時代」となっている。

また、無店舗小売業を中心に起業申請数がコロナ前より高水準で推移するなど、労働市場の構造変化を示唆する動きも見られる。

さらに、歴史的水準でインフレが進行しており、FRBはインフレ抑制を最優先課題としている。インフレ高止まりの中、人手不足や物価上昇を映じて名目賃金は上昇するも、実質賃金はマイナスで推移しており、今後の経済成長を下押しする可能性がうかがえる。

第3節. 欧州経済の動向

欧州経済は、大規模な財政措置にも支えられ回復基調にあるものの、ロシアのウクライナ侵略により、エネルギーを中心に大幅なインフレに直面しており、先行きは不確実性が高い。EUは、欧州経済の復興のため、グリーンとデジタルを中心的な柱とし、産業競争力の強化と域外国への依存度の低減を目指し、戦略的自律を強調した産業政策を展開している。同時に、気候変動・人権等の共通価値に関するルールメイキングで先行し、新たなグローバルスタンダード構築にも注力している。

第4節. 中国経済の動向

2021年の中国経済は、年初に高い成長率を実現したが、年央から洪水、感染再拡大、電力不足、半導体不足、不動産規制、資源高等の様々な要因から3 四半期連続で減速が続いた。2022年も、ゼロコロナ政策に伴う感染再拡大や不動産規制に伴う不動産市場の低迷のほか、上海等の大都市の厳しい防疫措置、ロシアのウクライナ侵略に伴う資源価格の高騰やサプライチェーンの混乱等から、減速が続いていくことが懸念されている。

(次ページへつづく)

中国が中長期的に成長を継続する上で、多くの課題がある。人口動態は、2020年の人口センサスの合計特殊出生率1.3が国連の低位推計（同1.45）を下回っており、事態の深刻さを示唆している。国有企業には、効率性が低いにも関わらず大きな資源が投入されているとの指摘がある。政府補助金は、中国製造2025の10分野を中心に、国有企業に限らず、民営企業を含め幅広い企業に支給されており、赤字の補填や研究開発、設備投資に利用されている可能性もある。金融リスクも懸念材料で、非金融企業債務が高水準で、家計債務も急拡大しており、地方政府財政は不動産関連収入に大きく依存している。不動産は規制もあり2021年後半から冷え込み、関連融資などのリスクも指摘されている。所得格差も依然として残り、「共同富裕」の方針が掲げられているものの、こうした課題に対して効果が期待される不動産税の実現には長い年月がかかると見られる。

このような中で、2022年3月の全国人民代表大会は、秋の共産党大会を意識し、経済の安定を最優先する方針を掲げた。2022年の経済成長率目標を5.5%前後として、その実現のため「積極的な財政政策」と「穏健な金融政策」を挙げているが、目標達成のためのハードルは高い。

第5節. インド・東南アジア経済の動向

各国で「ゼロコロナ」から「ウィズ・コロナ」へとシフトする動きが見られる。海外からの入国制限の緩和も徐々に進み、これまで低迷を余儀なくされてきた観光関連業種の回復やビジネス人材の往來の本格再開により、貿易・投資活動の活発化等が期待される。今後は、ウクライナ情勢等によるインフレ圧力の高まり、米国の金融政策正常化の影響、中国における感染再拡大とそれに伴う経済活動の制限措置の影響等のリスク要因に注意が必要である。

コロナ禍への対応に加え、コロナ後の成長を見据えた取組も重要であり、デジタル経済、デジタル技術を

通じた第四次産業革命の推進、投資促進といった経済の高付加価値化・産業高度化、気候変動問題への対応などサステナビリティの実現を大きな軸として、中長期的課題への取組の進展が期待される。我が国もアジアのパートナーとして、アジアと一体となって持続的成長を実現していくことが期待される。

第3章. 世界経済の長期的展望

第1節. 長期の人口動態と経済成長

国の産業構造や経済発展の動向には様々な要因が影響しており、天然資源は人為的に変えることができない要因である一方、人口は、出産・育児に関する給付金や移民政策等の政策対応によって一定の影響が与えられる重要な要因の一つである。世界人口は、国連中位推計では増加が長期的に継続するが、2065年にピークという他機関での試算もあり、出生率のすう勢的な低下に左右される。

コロナ禍は、現時点で近年の出生率減少傾向に拍車を掛けているわけではないが、出会いの機会や雇用・所得の減少を通じて家族計画に影響する可能性もある。

人口構成においては二つの主要な指標があり、それらは労働力人口比率と高齢化率である。労働力人口比率の上昇で、限界消費性向が比較的高い年齢層の人口比率が高まることにより、耐久財需要の増加が見込まれる。また、高齢化率の上昇は、潤沢な金融資産を保有する購買力の高い年齢層の人口比率が増えることにより、高齢層の消費市場（シルバーマーケット）形成が目玉される。

当面の人口増加により、中国やインドを中心とした発展途上国ではメガシティが増加し、メガシティ未満の大都市も大部分が発展途上国から出現する。

そうした大規模都市の持続的な発展を支えるためのインフラ整備は、2020-30年に38兆ドルの需要が推計されており、資金供給のために特に民間資金の活用が不可欠である。

第2節. グローバルで加速するトレンド

コロナショックを契機に、デジタル変革、地政学リスクの増大、共通価値の重視、政府の産業政策シフトという4つのトレンドがグローバルで加速している。これらは、今後の国際関係や世界経済の動向を左右し、企業経営に大きな不確実性を生み出すと共に、企業の付加価値の源泉に変化をもたらしている。

特に、地政学リスクや共通価値に関しては、各国政府の国際ルール形成や政策ポジションの違いによって企業の市場獲得の機会に違いが発生する可能性がある。

このような状況において、企業にとって、従来のコスト削減・低価格製品提供の重視から、差別化・高付加価値化や効率的なオペレーションに取り組むビジネスモデル・産業構造への変革を積極的に促し、企業の稼ぐ力を引き上げることが重要である。その上で、さらに、コロナ禍で加速した4つのトレンドを踏まえて、デジタル化による企業変革、政府が創出する需要の取り込み、経済安全保障・社会的インパクト・共通

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売
亜鉛ドロス・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 林 昭宏

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3
電話 06-6471-2531~5
FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5
電話 03-3618-2351~2

価値を中核事業における付加価値に転換するビジネスモデルへの変革まで促し、新しい資本主義における付加価値創造型のビジネスモデル・産業構造を実現させていくことが必要であろう。

第2部. 経済構造・技術・地政学・価値観の変化に対応した通商の在り方：課題と機会

第1章. 共通価値を反映したレジリエントなグローバルバリューチェーン

第1節. グローバルバリューチェーンの実態と課題

世界では、経済連携協定を通じた関税引下げの動きとあいまって、輸送コストの小さい近隣地域内での中間財貿易を中心にグローバルバリューチェーンの展開が進んでおり、アジア域内では複雑な国際生産分業体制が構築されている。その中で日本は、中間財を供給する前方参加とともに、海外から中間財を受け取る後方参加も拡大させてきた。中国の対米輸出の中に日本の付加価値も含まれるが、部品サプライヤーの現地進出や現地地場企業の技術向上等を背景にシェアは低下している一方、日本の対米輸出における中国の付加価値シェアは急速に上昇している。近年、前方参加と後方参加の両面にわたって、地政学リスクやパンデミック、自然災害等による供給制約等など課題が顕在化している。このような課題に対して、日本の企業サイドでは、米中対立を見据えた生産拠点及び供給元の見直しや、中間財供給元が一部の国のシェアが大きことから、供給元の多様化や現地化の動きなど、強靱なサプライチェーン構築への取組が見られる。

第2節. 経済安全保障とサプライチェーンの強靱化

米中間の技術覇権争いや、ロシアのウクライナ侵略といった地政学リスクの高まりのほか、新型コロナウイルス感染拡大もあって、世界で不確実性が增大する中、安全保障の対象範囲が経済・技術分野に急速に拡大している。

こうした中、輸入依存度が高く、サプライチェーン途絶リスクの大きい重要品目等について、国内生産拠点の整備と海外生産拠点の多元化の両輪で、サプライチェーンの強靱化が進められている。機微技術や新興技術については、進展の著しきや保有主体の多様化により流出形態が多様化・複雑化しており、各国で輸出管理・投資規制の強化が進められているなど、経済安全保障要請が高まっている。

第3節. 共通価値の可視化とサステナブルなグローバルバリューチェーンの構築に向けて

近年、脱炭素・人権等のサステナビリティや包摂性に関する「共通価値」への関心が高まっており、関連情報の把握・開示がサプライチェーンマネジメントの課題として要請されている。サプライチェーン全体の可視化、問題発生予防、問題が発生した場合における適時・適切な対応が企業にとって重要な課題となっている。デジタル技術の活用はそのために有効であり、欧州で先行するデータ連携を参考に、日本とアジアが一体となった高度なサプライチェーンマネジメントの仕組みを構築し、アジア大のデータ共有基盤構築による価値創造につなげていくことが期待される。

(次号へつづく)

亜鉛くず 現金高価買受け
亜鉛ドロス・滓 ご照会乞う

再生亜鉛精錬

日進産業株式会社

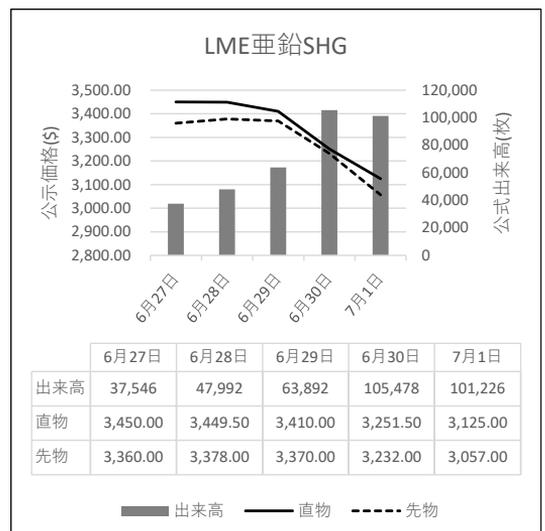
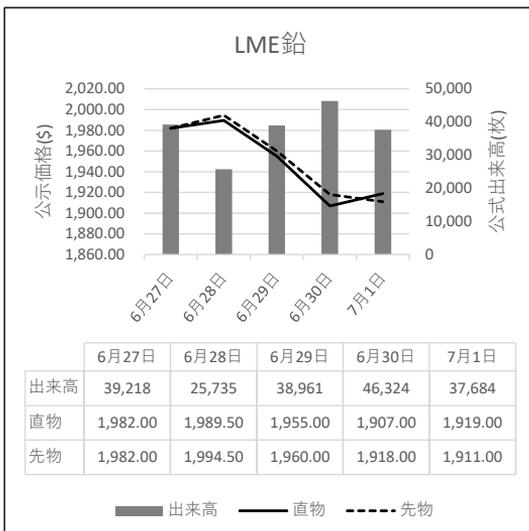
代表取締役 星山 えり

〒 580-0006 松原市大堀 1丁目 7-30

TEL 0723-31-3945代表

FAX 0723-31-3974

LME公式値週間推移 6月27日~7月1日(現地)



故銅市況

5日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の7,975.50ドルより60.50ドル高の8,036.00ドル。直物の終値は、前営業日の8,040.25ドルより41.75ドル安の7,998.50ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,982.00ドルより63.00ドル高の8,045.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,048.00ドルより42.00ドル安の8,006.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）は、独立記念日の祝日で休場。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の8月限は、前営業日の6万2,590元より1,350元安の6万1,240元。

5日の東京為替市場TTSレートは、前日の135.98円より1.16円の円安ドル高、1ドル=137.14円。5日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,036.00ドル。この値と5日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の112万2,000円より1万8,000円高の114万円。

この日、電気銅建値は113万円に引き下げられた。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(7月5日更新)

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が870～875、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは835～840、並銅は800～810、込銅（高品位=約97%）は790、セバは656～661。コーベルは要り用筋で597、それ以外は582ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋607、それ以外577～587どころの値頃。並青銅鋳物削粉は700～705どころ。

小口市中相場（1トン前後）では、ピカ線が850～870、上銅新くずが815～835、普通上銅が790～810、2号銅線が782～802、並銅が780～800、込銅（94-97%）が728、込銅（90-93%）が730、下銅が396～446、セバが621～656、コーベルが537～582、黄銅棒地が532～577、黄銅削粉が527～572、黄銅ラジが492～500、交叉ラジが454～511、黄銅鋳物が459～466、送りが297～316、上青銅鋳物が697～717、並青銅鋳物が677～692、上青銅鋳物削粉が692～712、並青銅鋳物削粉が667～687どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区（7月前半）

2S=220円～240円、63S=204円～255円、アルミホイール(1P)=116円～230円、ビス付サッシ=77円～86円、エンジンコロ=105円～113円、込合金(機械鋳物)=83円～91円、缶プレス(ソフト)=56円～66円。

関西地区（7月前半）

2S=202円～205円、63S=205円～240円、印刷版=195円～198円、アルミホイール(1P)=181円～191円、ベースメタル=149円～153円、機械鋳物=86円～89円、ダライ粉=65円～68円、ビス付サッシ=83円～98円、缶プレス=73円～78円。

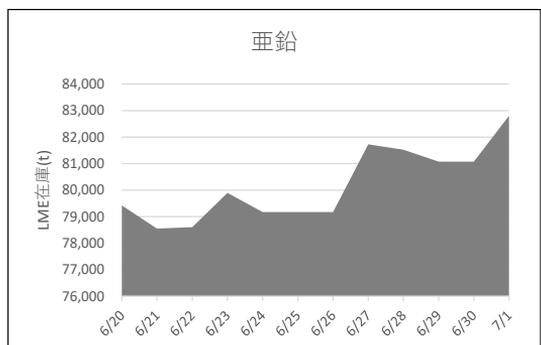
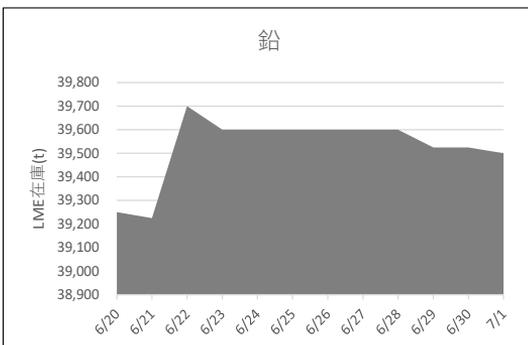
為替動向

4日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前週末と比べ0.0040ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0420ドル～1.0430ドルで推移した。高インフレが長期化すると観測から欧州の債利回りが上昇、金利差縮小がユーロ買いドル売りを促した。ただ、ECBの金融引き締めが欧州の経済成長を鈍化させるとの警戒感からユーロの上値は限られた。英ポンドも対ドルで上昇。同じ0.0110ドルのポンド高ドル安、1ポンド=1.2110ドル～1.2120ドルで推移した。英国では株価指数が上昇。投資家がリスクを取り易くなったことでポンド買いドル売りが優勢となった。

5日早朝の東京外国為替市場は円相場の下落で始まった。8時30分、前日17時と比べ0.41円の円安ドル高、1ドル=135.85円～135.87円で取引されていた。ノルウェーの油田労働者がストライキを実施すると伝えられ原油価格が高止まりするとの見方からニューヨークの原油先物相場が110ドル台半ばと前週末の清算値を約2%上回る水準で推移。実需筋の円売りが膨らむとの思惑から円売りが先行した。バイデン大統領の談話として、早ければ週内にも中国から輸入する消費財に対する一部関税の適応除外が実施されると伝えられたことも円売りを促した。

円は対ユーロでも下落。同じく0.45円の円安ユーロ高、1ユーロ=141.72円～141.75円だった。

LME認定倉庫在庫量推移 6月20日～7月1日(現地)





LME銅相場は反発 直物終値は続落して7,998.50ドル
 COMEX銅相場は休場 SHFE銅相場は続落
 LME非鉄相場はほぼ全面高 ニッケルは約5%の反発



5日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、7月2日入電の7,975.50ドルより60.50ドル高の8,036.00ドル。4営業日ぶりの反発で0.76%高。この週0.76%の上伸。7月に入って2.53%の下落。3か月物の前場売値は、7月2日入電の7,982.00ドルより63.00ドル高の8,045.00ドル。4営業日ぶりの反発で0.79%高。この週0.79%の上伸。7月に入って2.43%の下落。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地7月1日の12万6,850トンより10,100トン増の13万6,950トン。

現地4日のCOMEX（ニューヨーク商品取引所）は、独立記念日の祝日で休場。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、7月限が、7月2日入電の6万2,640元より1,290元安の6万1,350元。2営業日の続落で4.54%安。この週2.06%の下落。7月に入って4.54%の下落。中心限月に当たる8月限は、7月2日入電の6万2,590元より1,350元安の6万1,240元。2営業日の続落で4.61%安。この週2.16%の下落。7月に入って4.61%の下落。

錫も反発

LME錫相場の前場売値は、直物が、7月2日入電の2万7,000.00ドルより195.00ドル高の2万7,195.00ドル。4営業日ぶりの反発で0.72%高。この週0.72%の上伸。7月に入って0.54%の上伸。3か月物の前場売値は、7月2日入電の2万6,600.00ドルより105.00ドル高の2万6,705.00ドル。4営業日ぶりの反発で0.39%高。この週0.39%の上伸。7月に入って0.02%の上伸。

LME公認倉庫の錫在庫は現地7月1日の3,560トンより25トン増の3,585トン。

鉛は上伸

LME鉛相場の前場売値は、直物が、7月2日入電の1,919.00ドルより28.00ドル高の1,947.00ドル。2営業日の続伸で2.10%高。この週1.46%の上伸。7月に入って2.10%の上伸。3か月物の前場売値は、7月2日入電の1,911.00ドルより40.00ドル高の1,951.00ドル。4営業日ぶりの反発で2.09%高。この週2.09%の上伸。7月に入って1.72%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地7月1日の3万9,500トンより25トン減の3万9,475トン。

亜鉛は反発

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、7月2日入電の3,125.00ドルより45.00ドル高の3,170.00ドル。9営業日ぶりの反発で1.44%高。この週1.44%の上伸。7月に入って2.51%の下落。3か月物の前場売値は、7月2日入電の3,057.00ドルより53.00ドル高の3,110.00ドル。

4営業日ぶりの反発で1.73%高。この週1.73%の上伸。7月に入って3.77%の下落。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地7月1日の8万2,800トンより525トン増の8万3,325トン。

アルミも反発 アルミ合金は続落 北米特殊はまちまち

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、7月2日入電の2,384.00ドルより47.50ドル高の2,431.50ドル。4営業日ぶりの反発で1.99%高。この週1.99%の上伸。7月に入って1.44%の上伸。3か月物の前場売値は、7月2日入電の2,400.00ドルより52.00ドル高の2,452.00ドル。4営業日ぶりの反発で2.17%高。この週2.17%の上伸。7月に入って1.28%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地7月1日の36万9,675トンより万3,525トン減の36万6,150トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、7月2日入電の1,632.00ドルより221.00ドル安の1,411.00ドル。2営業日の続落で26.51%安。この週13.54%の下落。7月に入って26.51%の下落。3か月物の前場売値は、7月2日入電の1,660.00ドルより235.00ドル安の1,425.00ドル。2営業日の続落で25.78%安。この週14.16%の下落。7月に入って25.78%の下落。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、7月2日入電の2,411.00ドルより1.00ドル安の2,410.00ドル。2営業日の続落で4.40%安。この週0.04%の下落。7月に入って4.40%の下落。3か月物の前場売値は、7月2日入電より横ばいの2,400.00ドル。この週横ばい。7月に入って4.38%の下落。

ニッケルは反発

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、7月2日入電の2万1,650.00ドルより1,035.00ドル高の2万2,685.00ドル。3営業日ぶりの反発で4.78%高。この週4.78%の上伸。7月に入って1.80%の下落。3か月物の前場売値は、7月2日入電の2万1,700.00ドルより1,050.00ドル高の2万2,750.00ドル。3営業日ぶりの反発で4.84%高。この週4.84%の上伸。7月に入って1.22%の下落。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地7月1日の6万6,498トンより126トン増の6万6,624トン。

日刊金属 6カ月:46,200円
 外電配信料 (税込) 12カ月:92,400円

LME公示価格(US\$)／7月4日

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル	
直物	公示価格	8,036.00	27,195.00	1,947.00	3,170.00	2,431.50	1,411.00	2,410.00	22,685.00
	前営業日比	60.50	195.00	28.00	45.00	47.50	▲ 221.00	▲ 1.00	1,035.00
先物	公示価格	8,045.00	26,705.00	1,951.00	3,110.00	2,452.00	1,425.00	2,400.00	22,750.00
	前営業日比	63.00	105.00	40.00	53.00	52.00	▲ 235.00	0.00	1,050.00

海外非鉄金属相場

(7月5日 入電・現地 7月4日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

Table for NY Comex market (NY コメックス相場) showing prices for Copper, Gold, Silver, Platinum, and Palladium from July to November.

Table for LME (LME (円ベース/キロ)) showing prices for Copper, Tin, Lead, Zinc, Aluminum, and Nickel.

Table for Free Market (フリー・マーケット) showing US Producer Prices (米国生産者価格) for Silver and Gold.

Table for NY Market (NY相場) showing prices for Copper and Tin.

Table for London Market (ロンドン相場) showing prices for various metals like Antimony, Bismuth, Cadmium, etc.

Table for KLT Market (KLT M錫) showing prices for Tin in MYR/KG and US\$.

Table for LME Inventory (LME在庫) showing current and change in inventory for various metals.

Table for Shanghai Inventory (上海在庫) showing current and change in inventory for various metals.

Table for LME Pre-market (LMEプレマーケット) showing prices for various metals.

Table for Shanghai Market (上海相場) showing prices for various metals in Shanghai.

Table for COMEX and Shanghai prices (COMEX, 上海) showing prices for Copper, Aluminum, Zinc, and Tin.

Table for Procurement Prices (採算価格) showing prices for various metals based on different exchange rates.

非鉄金属製品相場

(7月5日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	◆ 1420	◆ 1400	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	◆ 1470	◆ 1450	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	◆ 1550	◆ 1600	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	◆ 1690	◆ 1600	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	◆ 1600	◆ 1510	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	◆ 1330	◆ 1370	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	◆ 1385	◆ 1415	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 32.5~34.6
銅線0.9ミリ	◆ 1410	◆ 1430	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 88.9~94.5
銅帯6×50	◆ 1340	◆ 1370	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 222~236
銅平角線	◆ 1610	◆ 1600	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	◆ 1170	◆ 1185	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1690~1797
〃 0.3ミリ	◆ 1200	◆ 1215	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2605~2769
黄銅大板2×1×2	◆ 1320	◆ 1365	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4376~4651
黄銅管	◆ 1755	◆ 1665	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2695~2860
復水器用黄銅管	◆ 1725	◆ 1635	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3771~4001
黄銅棒快削25ミリ	◆ 940	1060	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	◆ 970	1090	貴金属(一般小口向け)			3C×2 131-134
四角棒	◆ 1000	1120	白金(グラム)		◎ 4393	4C×2 176-180
鍛造用	◆ 980	1100	パラジウム(グラム)		◆ 9586	6C×2 250-256
ネーパル	◆ 1080	1200	金(グラム)		◎ 8752	7C×2 286-293
高力	◆ 1080	1200	銀(キログラム)		◎ 99000	合金鉄 5月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	◆ 1345	◆ 1365	レアメタル輸入価格 5月通関 (CIF)			フェロマンガン2%以上炭素含有 234
黄銅平角線ロール仕上	◆ 1545	◆ 1575	金属ケイ素(99.99%未満)		525	〃 その他 339.9
黄銅条1.5×100	◆ 1165	◆ 1200	モリブデン酸化物		3934	フェロシリコン55%以上 316
リン青銅板一般用1.0ミリ	2750	2940	タンタル		59294	フェロクロム4%以上炭素含有 303.6
〃 バネ用0.3ミリ	3030	3230	マグネシウム		651	フェロモリブデン純分60%以上 4001
リン青銅棒25ミリ	2840	3050	コバルト		10348	フェロバナジウム 4803
リン青銅線3ミリ	3240	3450	インジウム		29785	フェロニッケル33%未満 982.8
洋白板一般用1.0ミリ	3790	3920				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3950	4070				

減摩合金	7月1日改定	銅合金地金	7月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	5330	BC 1種	1290
2種	5170	2種	1635
3種	5000	3種	1725
4種	4385	6種	1415
5種	4210	7種	1525
7種	1415	YBSC 3種	1135
8種	1215	LBC 3種	1665
9種	1045	PBC 2種	1750



非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(7月5日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		42,000 ~ 44,000(1)				
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場					
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値			
1 号 銅 線	◆ 1038	◆ 1034	電 気 銅	◎ 1109	◎ 1104	◎ 1111	◎ 1106	山元建値	電気銅	1130(5)	金	7,947(5)
2 号 銅 線	◆ 986	—	電 気 亜 鉛	456	450	456	450	() 実施日	電気鉛	324(1)	銀	89,180(5)
上 銅 (新 切)	◆ 1009	◆ 999	蒸 留 亜 鉛	444	438	444	438		電気亜鉛	484(1)	錫(99.99%)	5,100(1)
雑 ナ ゲ ッ ト	◆ 859	◆ 863	再生ダイカスト亜鉛2種	356	350	356	350					
並 銅	◆ 941	◆ 930	再 生 亜 鉛 (98%)	303	297	303	297					
下 銅	◆ 922	◆ 903	電 気 鉛	300	297	300	297					
銅 削 粉	◆ 921	◆ 906	再 生 鉛 1 号	283	273	278	273					
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	288	284	283	279					
新 切 黄 銅 セ バ	◆ 775	◆ 772	錫 1 号	3900	3850	3900	3850					
コ ー ベ ル	◆ 742	◆ 730	ア ン チ モ ン	1950	1900	1950	1900					
黄 銅 棒 地	◆ 726	◆ 718	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	◆ 3250	◆ 3200	◆ 3250	◆ 3200					
黄 銅 削 粉	◆ 720	◆ 714	コ バ ル ト	10800	10500	10800	10500					
並 黄 銅	◆ 684	◆ 669	セ レ ニ ウ ム	3400	3200	3400	3200					
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	◆ 557	◆ 537	ビ ス マ ス	1350	1250	1350	1250					
交 叉 ラ ジ エ タ ー	◆ 628	◆ 594	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550					
黄 銅 鑄 物	◆ 689	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	600	580	600	580					
山 送 り (55%)	375	—	ア ル ミ 地 金 99.70 %	◎ 377	◎ 373	◎ 379	◎ 375					
上 青 銅 鑄 物	◆ 792	—	ア ル ミ 二 次 地 金 99 %	335	330	335	330					
並 青 銅 鑄 物	◆ 790	◆ 768	〃 90 %	298	293	298	293					
上 青 銅 鑄 物 削 粉	◆ 785	—	ア ル ミ 二 次 合 金 ADC12	◆ 432	◆ 427	◆ 435	◆ 430					
並 青 銅 鑄 物 削 粉	◆ 775	◆ 756	鑄 物 用 C2BS	◆ 457	◆ 452	◆ 459	◆ 454					
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	◆ 1018	青 銅 合 金 地 金 3 種	◆ 1625	◆ 1615	◆ 1640	◆ 1630					
〃 (鑄 物)	◆ 907	—	〃 6 種	◆ 1335	◆ 1325	◆ 1330	◆ 1320					
リ ン 青 銅 削 粉	◆ 820	◆ 799	ハ ン ダ 錫 60 %	3555	3515	3575	3545					
新 切 洋 白 (電 子 材)	◆ 840	◆ 814	〃 50 %	3060	3010	3080	3050					
新 切 亜 鉛	226	226	〃 40 %	2630	2570	2585	2555					
ダ イ カ ス ト く ず	191	191	減 摩 合 金 2 種	5135	5105	5140	5110					
亜 鉛 ド ロ ス	169	180	〃 4 種	4355	4330	4360	4330					
上 鉛	141	139	〃 7 種	1395	1345	1395	1345					
電 池 素 鉛 ケ ー ス 込	27	27	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切	◆ 125	◆ 125						
活 字 鉛	126	123		〃 ダライ粉	◆ 110	◆ 110						
新 切 ア ル ミ 1 級	◆ 242	◆ 244		高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316	300	300						
新 切 サ ッ シ 1 級	◆ 242	◆ 242		耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310	515	515						
新 切 合 金 1 級	◆ 227	◆ 222		13クローム 新切	29	33						
機 械 鑄 物 1 級	150	◆ 155		ハ イ ス 9 種	220	220						
ビ ス 付 サ ッ シ P	173	◆ 170										
合 金 削 粉 P	95	◆ 100										
込 ガ ラ P	90	◆ 92										
カ ン ・ バ ラ	◆ 170	◆ 161										

非鉄金属材料相場面
PW:KINZOKU2207